

## 「防災資機材 1 型格納箱」仕様書

### 第 1 総 則

この仕様書は、旭川市防災安全部防災課（以下「本市」という。）が、令和 7 年度に購入する防災資機材 1 型格納箱（以下「格納箱」という。）の仕様について定める。

### 第 2 数量及び主要諸元仕様

#### 1 数量

1 箱

#### 2 主要諸元仕様

格納箱の製作に当たっては、厳密な設計、施工検査を実施し機構堅牢で耐久性に富み、容易に開閉及び資機材の取り出しができるよう製作するものとする。

##### (1) 材質

ステンレス製又はこれと同等以上の性能を有するもので、腐食に耐え堅牢なもの。

##### (2) 板厚

0. 8 mm 以上（ただし、レール部は 2 mm 以上とする。）

##### (3) 寸法（東石部分を除く。）

ア 全長 1, 2 0 0 mm

イ 全幅 6 0 0 mm

ウ 全高 1, 1 0 0 mm（背面高は 1, 0 0 0 mm とし、箱上部に傾斜をつけること。）

##### (4) 構造等（参考図参照）

ア 板の接合は溶接、防水リベット止め又はこれらと接合強度が同等以上の方法によるものとし、雨水等の侵入を防ぐよう気密にすること。

イ 既存の小型可搬動力ポンプを収納するために、その重量に耐える収納式（蝶番による折りたたみ式）のレールを設けること。

ウ 扉は蝶番 2 か所止めによる片開き構造とし、開くことにより警報ベル（ゼンマイ式）が鳴動する装置を設けること。扉の開閉方向については、別途指示する。

また、扉には開閉のための取手を設置し、9 0 度回転させることにより、固定のためのツメが掛かる構造とすること。

エ 盗難防止のため扉は南京錠等により施錠できる構造とし、扉側と本体側に錠を掛けるための取手金具を設けること。

オ 格納箱は、4 か所の東石上にアンカー又はこれと同等以上の固定力を持つ方法により固定し、上記 2 (3) ア、イ以内に収めること。

カ 蝶番、扉用取手、鍵用取手、アンカー等の材質は腐食に耐え、かつ堅牢なものにすること。

キ 格納箱は屋外に設置するため、外観については特に配慮すること。

### 第3 検査

納入時に本市担当職員が実施する次の検査を受けること。

- 1 仕様検査
- 2 機能検査

### 第4 納入期限

令和7年10月31日（金）

### 第5 納入場所

4条西1丁目 栄町会館敷地内

具体的な納入場所については、別途指示する。

### 第6 補足

- 1 格納箱は、小型可搬動力ポンプ等の積載物を積載した状態の防災活動用資機材車を出し入れ可能であるように製作すること。
- 2 格納箱の仕様について疑義又は仕様書により難しい箇所があるときは、直ちに本市に連絡し、その指示を受けるものとする。
- 3 受注者は、契約後速やかに格納箱の外観三面図各2部を本市に提出し、承認を受けた後に製作すること。（概要図は、参考図を参照のこと。）
- 4 格納箱納入時の費用は、受注者の負担とする。
- 5 格納箱の保証期間は、納入後1年間とする。

### 第7 担当課

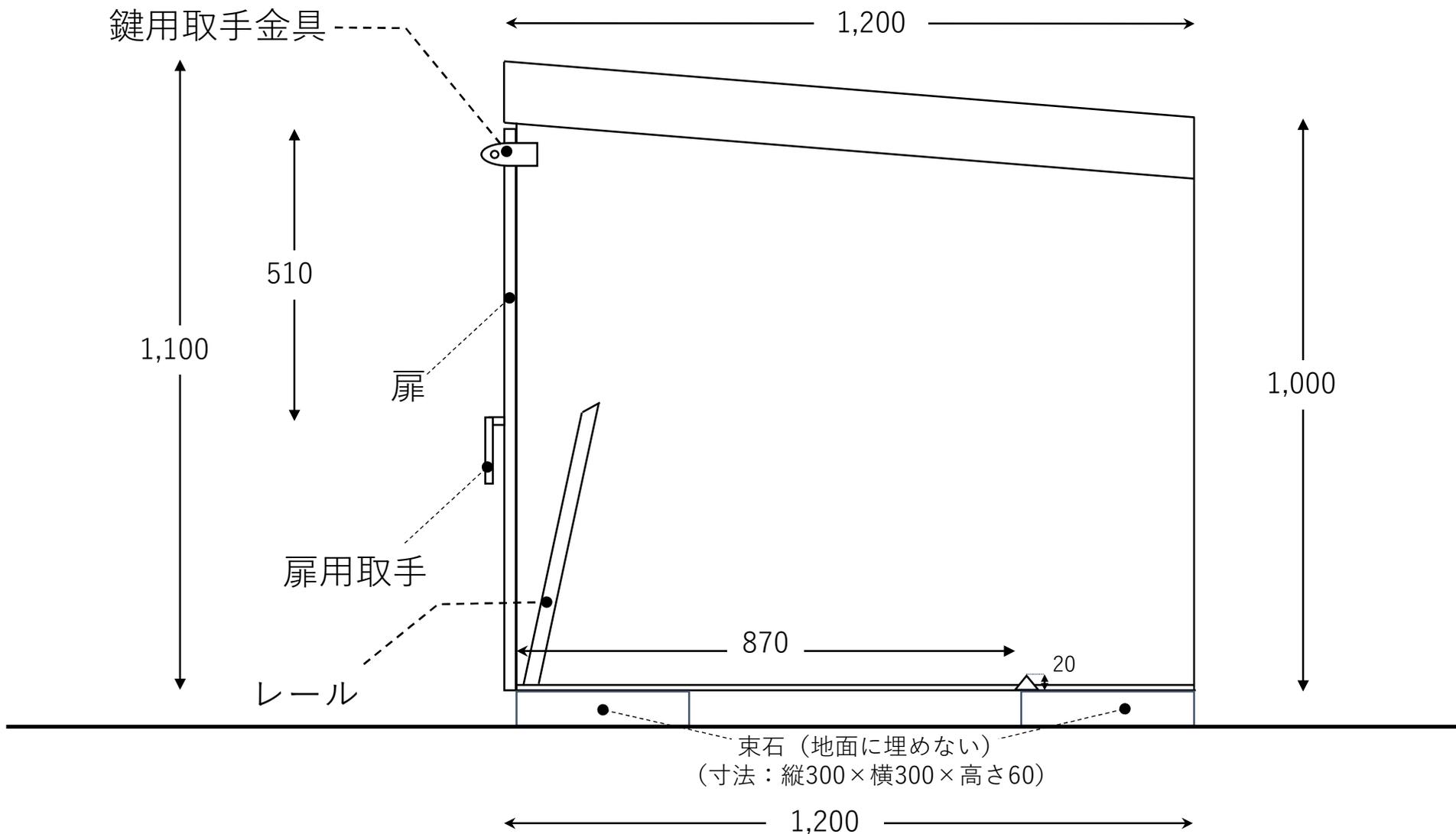
防災安全部 防災課

執務室：旭川市役所総合庁舎7階 直通電話：25-9840

側面図

防災資機材 1 型格納箱

参考図  
【単位：mm】

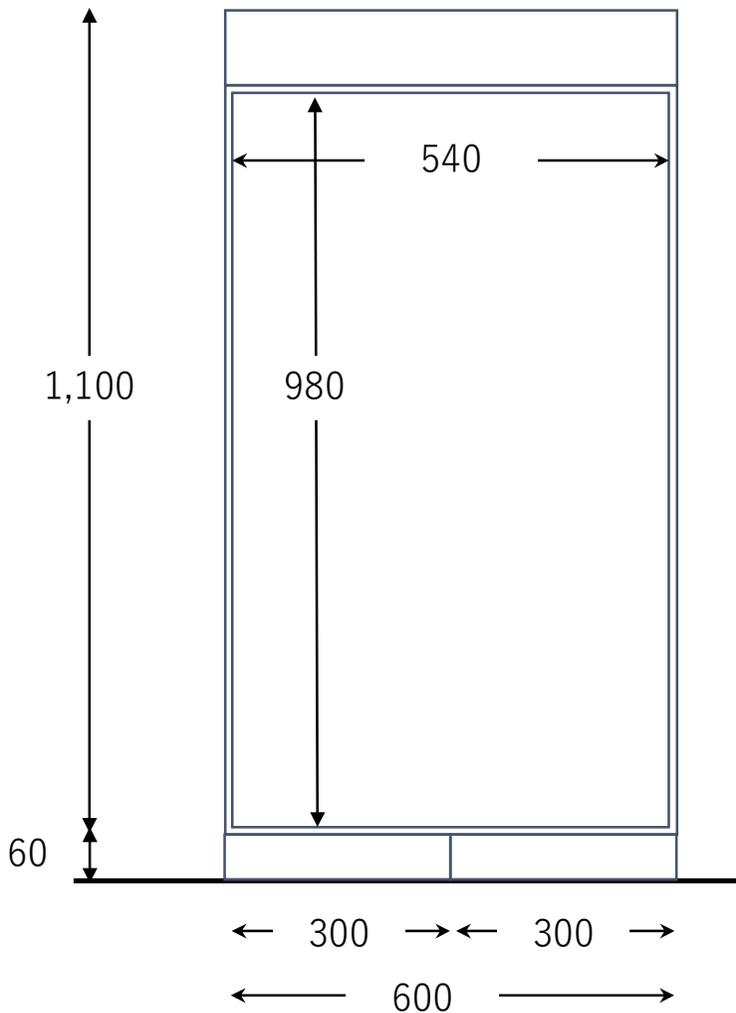


格納箱の上面・底面は強度を持たせるため、折込み等により若干の厚みを持たせるものとする

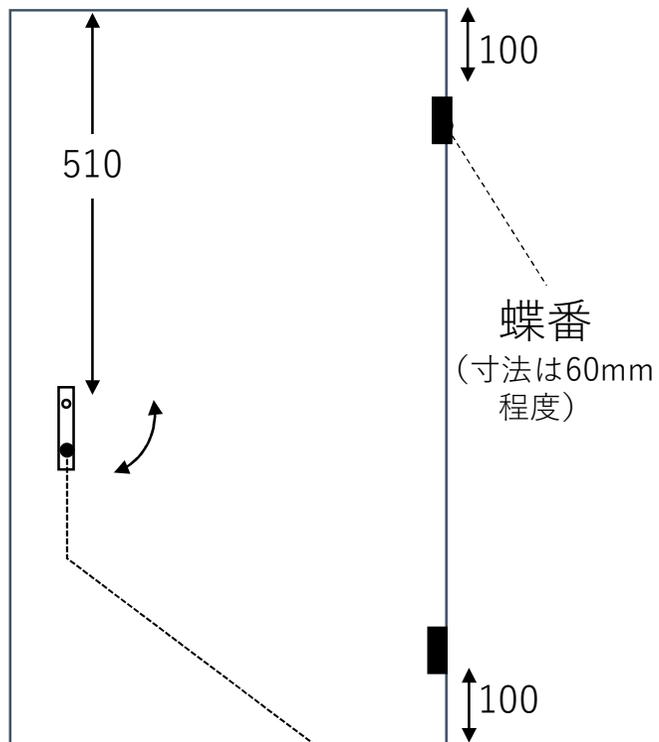
# 防災資機材 1 型格納箱

参考図  
【単位：mm】

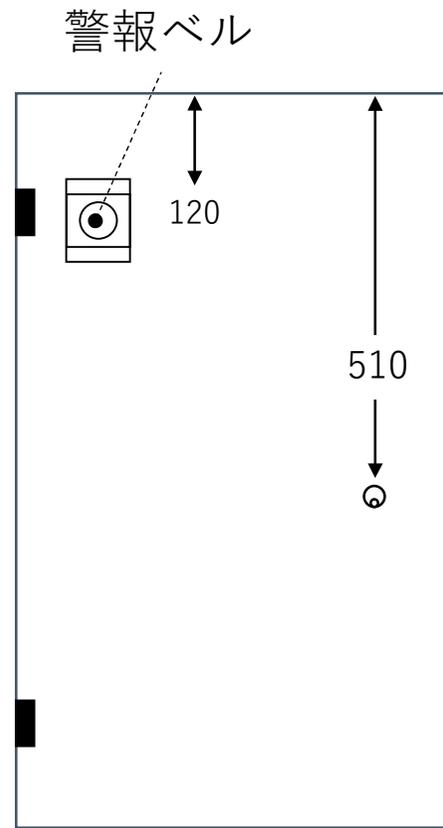
正面図  
(扉除く)



扉図 (表)



扉図 (裏)

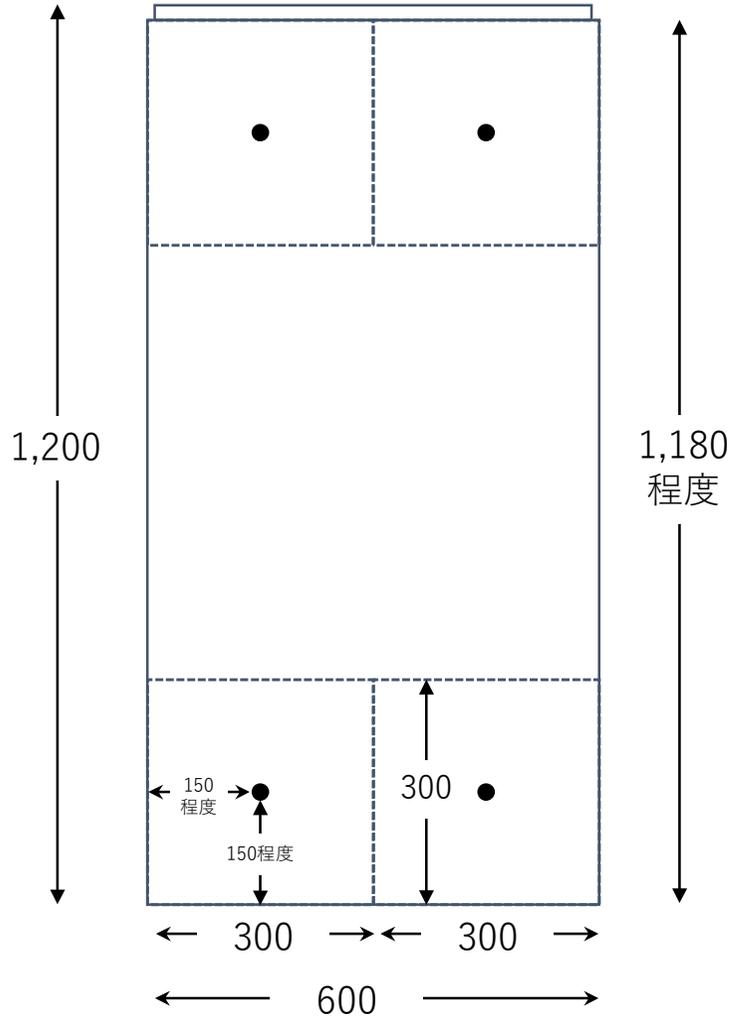


取手  
(矢印方向に90度  
回転する)

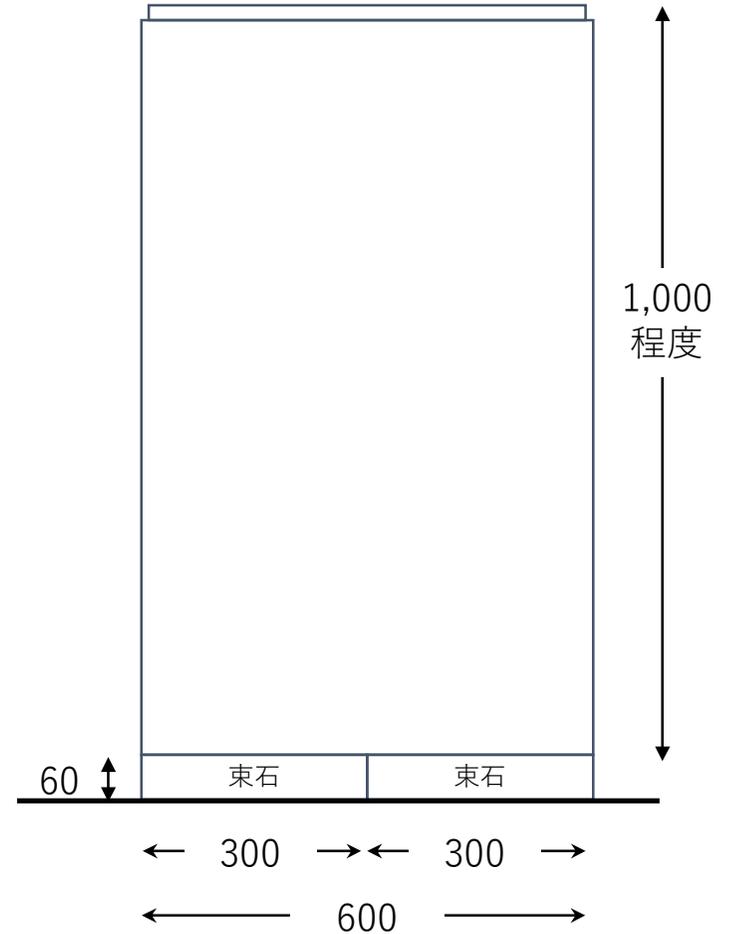
# 防災資機材 1 型格納箱

参考図  
【単位：mm】

底面図



背面図

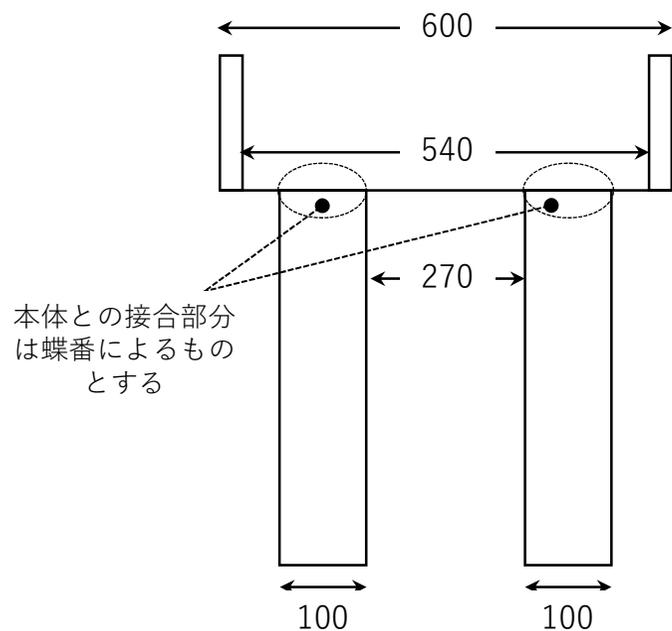


# 防災資機材 1 型格納箱

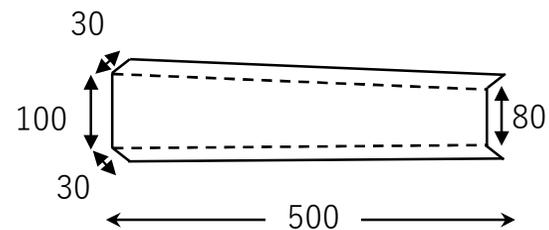
参考図  
【単位：mm】

## レール取付状況

### 【正面下部】



### 【レール拡大図】



- 1 本体との接合部分は蝶番によるものとする。
- 2 レール強度を保持するため、点線部で山側に折り込むものとする。  
(レール厚2mm以上)